

受 理 番 号	陳情第 3 5 号
件 名	広島市立中央図書館の外壁の汚れ改善について
要 旨	広島市立中央図書館は開館 5 0 周年を迎え、現在、館内の展示ホールではこれまでの歩みを振り返る展示がされている。開館時は西日本最大級の図書館であり、文化のシンボルとして誕生。市民に貢献してきた歴史はかけがえのない宝物である。 1 1 月 1 0 日には建物のガイドツアーがあり、復興期のモダニズム建築を継承する立体的なモダンデザインのすばらしさが紹介された。独立した展示ホール、自習室などのプランニングは先進的であり、また内外に彫刻や工芸品が配置され、市民の文化センターとしての役割を果たしてきたと分かる。 2 階の南北軸を貫くコリドールは広島城を望む正面玄関アプローチへとつながり、平和の軸線と平行している。また同時期に建てられた基町高層アパートと兄弟のように呼応している。正に復興を象徴する図書館だと言えるであろう。 中央図書館は 5 0 年の間、広島市民に愛され、親しまれてきた。市からの駅前エールエール A 館への移転案に反対する市民の声が大変多く上がったことにも表れている。たとえ移転が決まっているとしても、建物は浅野文庫が存在する間（少なくとも後 5 年間）は使われるのであるから、今の汚れたままの姿ではいけないと考える。 北側のお城に面した正面玄関側が特に汚れ方がひどく、黒ずみが目立っている。上部に「広島市立中央図書館、映像文化ライブラリー」と表示があり、ニュースなどにも写される顔とも言える場所である。 図書館は中央公園の中に「平和の森」と一体となり、存在している。平和の森の中に 7 月に移転された渝華園の椅子に座る人も増え、外国人観光客もますます増え、人目に触れる機会は格段に多くなっている。 国際平和文化都市を名のる広島市がこれを放置してはいけない。移転が決まっているからと見苦しいまま放置したら、文化を大切にしていないと表明するようなものである。 今のままでは図書館に関わり、愛する人々は悲しい気持ちになる。中央図書館と図書館の職員の皆さん、図書館を愛する多くの市民の

要 旨	皆さんに敬意を示していただきたい。 ついては、広島市立中央図書館の外壁の汚れが大変見苦しくなっていることから、改善していただくよう陳情する。 補記 広島市立中央図書館建設に最も熱心だった故山田節男市長の開館式あいさつの言葉を紹介する。（展示ホール企画展掲示より） あいさつ 広島市民こぞつて、その完成を待ち望んでいた市立中央図書館が関係者各位のご参列を得て、いよいよ本日開館の運びに至りましたことは、真に喜ばしくご同慶にたえないところでございます。 市立図書館の建設は、市の永年にわたる懸案事項の一つでありまして、その新設にあたつての基本的構想について慎重に研究を重ね、各方面のご支援ご協力を得た上で完成されたものでありまして、情報化時代に適応した機能と、国際平和文化都市広島にふさわしい内容、そして中央公園内の施設として調和のとれた形態とを兼ねそなえたものとして、ここに実現されたのであります。 市民が気軽に利用でき、親しみつつ教養を高める場として活用され、広島市の文化的水準が大いに高められることを期待してやまないものであります。 この図書館を包む中央公園は、各方面の方々の善意と協力とにより着々と整備が進められていますが、図書館の周囲には広島、山口、島根 3 県下のライオンズクラブが全力をあげて植樹を実施していただくことになり、やがて立派な平和の森として、理想的な環境が形成される計画でございます。 また、今までの半世紀にわたり浅野図書館として市民に親しまれ、市民文化の育成に貢献いただきました浅野家のご功績は真に大きなものがありまして、ここに改めて感謝申し上げるものでございます。 開館にあたり、今日までご支援ご協力を賜りました関係者各位に対しまして、衷心より感謝申し上げますとともに、この図書館が市民の皆様の温かい力に支えられ、益々充実したものとなりますよう祈念いたしまして挨拶いたします。 昭和 4 9 年 1 0 月 2 7 日 広島市長 山田節男 注 山田市長は病気のため、開館式に出席せず、助役が代読したと推測される。翌昭和 5 0 年 1 月 8 日死去。
----------------	---